

令和4年12月15日

社会福祉法人つつじの福社会
書面による『はぎの郷 2022年度第4回運営推進会議』議事録

社会福祉法人つつじの福社会 地域密着型小規模特別養護老人ホーム『はぎの郷 2022年度第4回運営推進会議』の開催（開催予定日：令和4年11月28日）に際し、新型コロナウイルス感染防止を第一優先とした書面による開催としたため、令和4年11月28日必着にて、参加予定の方々に対し書面による報告資料を郵送しました。報告内容に対するご意見・確認事項について、令和4年12月9日を期日として募りましたところ、貴重なご意見・確認事項等をいただきました。

以上の書面報告による開催を明らかにするため、ここに本議事録を作成する。

1 書面報告による『はぎの郷 2022年度第4回運営推進会議』を実施した者の氏名

『はぎの郷』 統括管理者 宮武 昭彦

2 書面報告による『はぎの郷 2022年度第4回運営推進会議』参加者

- ・加古川市 福祉部 法人指導課 職員
- ・地域包括支援センターひらおか 職員
- ・特別養護老人ホームうおずみ 施設長
- ・つつじ野地区民生委員
- ・はぎの郷入居者様のご家族

3 「ご意見や確認事項等」について

特別養護老人ホームうおずみ施設長様より5項目、入居者様のご家族より4項目につきご意見・ご質問をいただきました。ご意見・ご質問への回答とあわせて添付資料を確認ください。

4 『はぎの郷 2022年度第4回運営推進会議』の開催と閉会

開催日：令和4年11月28日 書面による報告（郵送）をもって開催日とする。

閉会日：令和4年11月28日（期日：令和4年12月9日）開催日をもって閉会日とみなす。

5 議事録の作成に係る職務を行った者の氏名

『はぎの郷』 統括管理者 宮武 昭彦

(1) (ご家族より)

ご意見：10頁下から2段目、もう少し詳しく知りたいのですが、フォークがかけるとはどのようなことなのか？

回答：普段は個人所有のプラスチック製のフォークを使い、食事を食べられている利用者でございます。今回食事中の様子を見守りしている時に使用されておられるフォークの4本ある先端のうち1本が根本から折れていることを確認しました。職員がすぐに欠けた先端部分が食事に混ざっていないかを確認させて頂きました。利用者には別の施設のフォークを使用していただき食事を食べて頂きました。食事を配膳した時にフォークが欠けているか等の確認をしないで配膳してしまった事で事前に欠けていたのか？食事中に欠けてしまったものか？の確認ができなかったことを要因とし、食事配膳前、食事を食べられた後で食器を片付け時に食器等の破損個所がないか、確認し利用者に安全な食事が提供できるよう対応を確認共有しました。

ご意見：11頁最下段、血が1cm×10cmとありますが、傷の具合はどうだったのか？

回答：上記の事故ですが、居室内での転倒事故で転倒時の居室内状況を職員は直接確認できなかったのですが、利用者から状況をお聞きする限りの情報では、ベッドから起きられた後、ベッドとタンス付近で転倒した時に額を床で擦ってしまい、額が擦り傷のため赤く血がにじんでいる状況でした。居室内での転倒事故再発防止策としてご家族に相談させて頂き、ご自身の意思で一人で居室内を動かされた時に怪我等のリスクを最小限にするためにベッド横にはクッションマット、居室内の角となる箇所にはエアークッションを貼り、職員が共有して利用者の行動・転倒リスク予知を継続して行い、利用者にとって安心安全に過ごせる様に対応を確認共有しました。

ご意見：3Fの報告を見ているとあまり平穏な感じを受けなかったのですが、心配はないですか？

回答：施設長をはじめ、各専門職員（介護支援専門員、看護職員、栄養士）も1F・2F・3Fのユニット会議にも参加し、各ユニットのヒヤリハット報告書、事故報告書もすべて把握し各ユニット職員と確認、改善、指導、サポート等を実施しております。

心配なお気持ちにさせてしまったこととお詫び申し上げます。今後もこのようなご意見を大切に受け止め、利用者の安心・安全な日々の生活を第一に考え、各ユニット職員と確認、改善、指導、サポート等を共有、実施してまいります。

ご意見：処方された薬を届ける薬局ですが、同じ系列とは言え、名前も違うのですから変更があったなら、その旨連絡してくださるのが当然ではないでしょうか？（薬局からも連絡はなかったです。）

回答：ご意見について、おっしゃる通り、今回から利用者には処方を取り扱う薬局が、同じ系列とは言え、支店名の変更があったことを、利用者（ご家族及び代理人）にその旨をご報告することが必要であったとについて心より謝罪を申し上げます。今後も「利用者ファースト」を第一に、ご家族及び代理人と施設が報告・相談・連絡等の情報共有をしっかりとさせて頂くこと、実施して参ります。「報告につきまして誠に申し訳ございませんでした。」 施設長 宮武昭彦

(2) (有識者より)

ご意見：行事写真を拝見し、入居者様の表情が明るく、楽しそうに過ごされている様子がうかがえ、嬉しく思います。このようなとても良い写真についてですがご家族様への送付等はされているのでしょうか？

当施設においては面会の中止以降定期的に家族様へ本人様のお写真と担当者が一言コメントを記入したものを送付し、面会中止中でも近況が伝わると好評を得ておりますので実施されてみてはいかがでしょうか？（すでに実施されていれば申し訳ないです）

回答：いつも、適切なアドバイスを頂き、ありがとうございます。

当施設も毎月1回、各ユニットの職員が作成してくれる各ご家族及び代理人宛に利用者の近況報告、利用者から家族への伝言（あれば）、服や嗜好品等の利用者の日々の生活に必要なもの、施設としてはイベント時の利用者の写真が掲載された（掲載可能な方）施設便り等も添えてお手紙としてお送りさせて頂いております。やはり感謝してくれる家族及び代理人の方々も多数いてくれまして、今後も家族との情報共有を大切に継続して続けて参ります。ありがとうございます。

ご意見：兵庫県より高齢者施設原油価格・物価高騰対策一時支援金の補助が決定しました。申請されることとは思いますが、昨年度と比較して電気、ガス代の高騰についての対策は何か実施されているのでしょうか？またおむつ代等消耗品についても業者より価格値上げの交渉等実施されているのでしょうか？

回答：当施設も兵庫県より高齢者施設原油価格・物価高騰対策一時支援金の補助の申請はしましたが、どの程度の支援金がでるのかは不安ではあります。昨年度と比較しても電気代金、ガス代金の高騰は著しく、また業者等からの「おむつ代・日用品・衛生用品・食品等」の価格値上げの通達もありました。（交渉の余地なく、社会情勢として受け止めています。）

当然、この社会情勢(原油価格・物価高騰)を理由に利用者の日々の生活、サービス提供内容に支障があってはならないことを第一に考慮しますと節約箇所等などは、ほとんどなく、どこまでこの社会情勢（原油価格・物価高騰）に施設運営が耐えうるのか、どこまで国は社会情勢（原油価格・物価高騰）支援金による補填をしてくれるのか？どこの医療福祉施設も不安の日々と思えます。社会情勢により支出は大きく増えても、収入は変わらない中での運営なので。

また、この件についての新しい情報（支援情報）等がありましたらご指導、情報共有等をどうぞ、よろしく願いいたします。

ご意見：上記の内容に通じるのですが、給食については委託の形態をとられているのであれば委託業者より単価設定の交渉はされていますか？（法人全体でのお話かもしれませんが差し支えなければ教えていただければと思います）

回答：当施設（法人）はクックチル方式での委託形式をとっております。当然、単価設定（値上げ）についての打診はされていますが、現在は食事単価に関しての値上げは保留状態です。理由として年間で契約しているため値上げ交渉は年度末にされるのかと推測しています。

ご意見：新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として職員への抗原検査の定期実施はされていますか？兵庫県から抗原検査キットの配布等されていると思います。上手く活用して第8波を乗り切っていきましょう。

回答：兵庫県から抗原検査キットの配布等により12月、1月にも全職員の検査を実施予定です。

また、利用者の発熱時、職員の少しでも体調の不良時、職員の濃厚接触時及びその疑いがある時等において積極的に施設として検査を実施しています。

ご意見：事故報告書、ヒヤリハット報告もしっかりと出されています。引き続きよろしく申し上げます。

回答：ありがとうございます。ヒヤリハット報告書に関しては毎月、職員は最低1枚以上の提出を必須としています。施設内事故の予防、各利用者やユニット内リスク（危険）の共有、各職員のリスク（危険）予見力向上を目的として実施しています。

事故報告書については、今後も職員と再発防止のための改善、情報共有を実施していき、これからも利用者にとって安心安全な施設運営に精進してまいります。

統括管理者 宮武 昭彦